

魚津の蜃気楼 発生予測精度と観測について

魚津蜃気楼研究会 野村英樹

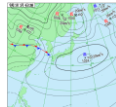
1 テーマ選定理由 : 魚津の蜃気楼を広める為にはどうすればよいか？

SNSや蜃気楼パンフレットを活用し、魅力を発信する。

※蜃気楼を見に魚津に来るには、**蜃気楼が発生する日が分かれば良い。**

2 蜃気楼を観測するまでの流れ

1 蜃気楼予測 = 天気図の確認



※高気圧の右回りの暖かい「南風」が
列島に入ることが大前提。

2 研究会HPの蜃気楼予測を更新



予測理由を詳細に書くこと。

蜃気楼の先入観を払拭させる為の目的。

3 前日の夜の状況確認



前日の夜の状況は、次の日に影響する。
プラス面とマイナス面を自分で確認する。

4 当日の朝の状況確認。4時台に起床。

場所	気温	湿度	風速	風向	天気
市庁舎	12.5	75%	1.2	南	晴
中央公園	12.0	78%	1.0	南	晴
立山連峰	11.5	80%	0.8	南	晴
魚津港	12.2	76%	1.1	南	晴
魚津駅前	12.3	77%	1.1	南	晴
魚津市役所	12.4	76%	1.2	南	晴
魚津駅前	12.3	77%	1.1	南	晴
魚津市役所	12.4	76%	1.2	南	晴
魚津駅前	12.3	77%	1.1	南	晴
魚津市役所	12.4	76%	1.2	南	晴

県内の気温分布を確認する。

上暖下冷をみる為に、標高の高い所と低い所の
気温差などを見してみる。

5 魚津埋没林博物館設置のライブカメラを確認。



暗い時は照明で、明るくなれば波の状態も確認出来る。

6 その他のライブカメラで空や立山連峰の状況を確認



立山連峰の見え方が重要

空の雲と稜線がハッキリしているかの確認

7 蜃気楼展望地へ。(海の駅蜃気楼駐車場)



まずは立山連峰の見え具合
雪山が光っていれば可能性大

8 富山湾の状況確認



富山湾が凪であれば良い状況。
見通しが良いかの判断も出来る。

9 予兆が無いか調べる。



大気光学現象。



内陸の伸びなど



空気の帯



グレーの空気層

10 既に蜃気楼が始まっている



松林の伸び



山並みの変化



橋桁の持ち上がり



テトラポット伸び

11 朝の変化がその日の目安にもなる。



- 朝の変化で蜃気楼の層が出来易い傾向にあると判断できる。
- 風が強くならずに太陽が降り注いで気温が上がれば良い変化となる。

3 まとめ 蜃気楼に繋がって行くには様々な傾向がある。



- ①基本的には高気圧の位置
- ②前日の夜の終わり方
- ③夜中から上暖下冷に向かっている傾向がある。
- ④夜明け前からの変化の兆候がある。

これらの観察記録を持続させれば、予測精度向上に繋がる上、
その日の確信に繋がる。